

2024年8月30日

熊本トヨペット株式会社

代表取締役社長 齊藤 賢司 様

公益財団法人 地方経済総合研究所

代表理事 笠原 慶久

## モニタリング検証報告書

### 1. 検証の対象および目的

本検証は、ポジティブ・インパクト・ファイナンス評価書（以下、評価書）に掲げる KPI を対象に、下記検証期間における進捗を確認することを目的としている。なお、評価書は国連環境計画金融イニシアティブ（UNEP FI）が提唱した「ポジティブ・インパクト金融原則」及び ESG 金融ハイレベル・パネル設置要綱第 2 項（4）に基づき設置されたポジティブインパクトファイナンスタスクフォースがまとめた「インパクトファイナンスの基本的考え方」に則り 2022 年 5 月 31 日に発行した。

#### 【検証期間】

2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

### 2. 検証の方法


評価書に掲げた KPI について、肥後銀行と連携し実施した担当者へのヒアリングを基に、検証を進めた。なお、進捗の妥当性は、適宜実施するヒアリング等で確認している。

### 3. 検証期間における補足・特記事項

環境保全活動に関する補足	<ul style="list-style-type: none"><li>▶「グリーンキャンペーン」（正式名称：ふれあいグリーンキャンペーン）について</li><li>・トヨタ自動車(株)と共同で 1976 年より継続して実施しており、県内自治体への苗木の累計寄贈本数は 4.0 万本超にのぼる</li><li>▶水田湛水事業への参加</li><li>・公財）肥後の水とみどりの愛護基金が実施している「阿蘇水掛の棚田」での水田湛水事業に社員とその家族で参加、田植えや稲刈りを体験するとともに収穫した米 200Kg を子ども食堂ネットワークに寄贈</li></ul>
その他特記事項（次ページの「取組事項」以外の主な SDGs 活動	<ul style="list-style-type: none"><li>▶熊本県「交通遺児対策基金」への寄付</li><li>・交通遺児の支援を目的に、2019 年より継続して実施</li></ul>

#### 4. 検証結果

ヒアリングを基に、検証結果を以下の評価基準を参考に、次の通りまとめた。

重要課題	取組事項	KPI	2025年 目標	実績	評価
快適なモビリティ ライフの提供 	サポカーの販売	サポカー販売比率	100%	100%	A
	カーシェアリング事業の実施	カーシェアリング台数	15台/年	2台	C
持続可能な社会 づくり 	多様なステークホルダーとの連携による取り組み強化	連携件数	10件/年	28件	A
	子どもの貧困支援	子ども食堂・ユニセフ支援	毎年継続	継続	A
環境に配慮した 事業活動 	電動車（HEV・PHEV・FCEV・BEV）の普及促進	販売車両における電動車比率	50%	60.3%	A
	事業活動における環境保全	CO2 排出量削減	-15%	-10%	A
	環境保全活動	グリーンキャンペーン毎年継続	毎年継続	継続	A
社員の健康や働き 甲斐の向上 	健康経営の取組み	健康経営優良法人	2023年 認定取得	認定 取得	S
	男性の育児休暇取得推進	育児休暇取得率	100%	7.6%	C
	ダイバーシティ推進	女性管理職比率	10%	5%	B
		高校生の採用	10人 (累計)	1人	C

【評価基準】

S：目標を大きく上回る A：当初の期待通り B：目標を下回る C：目標を大きく下回る

以上